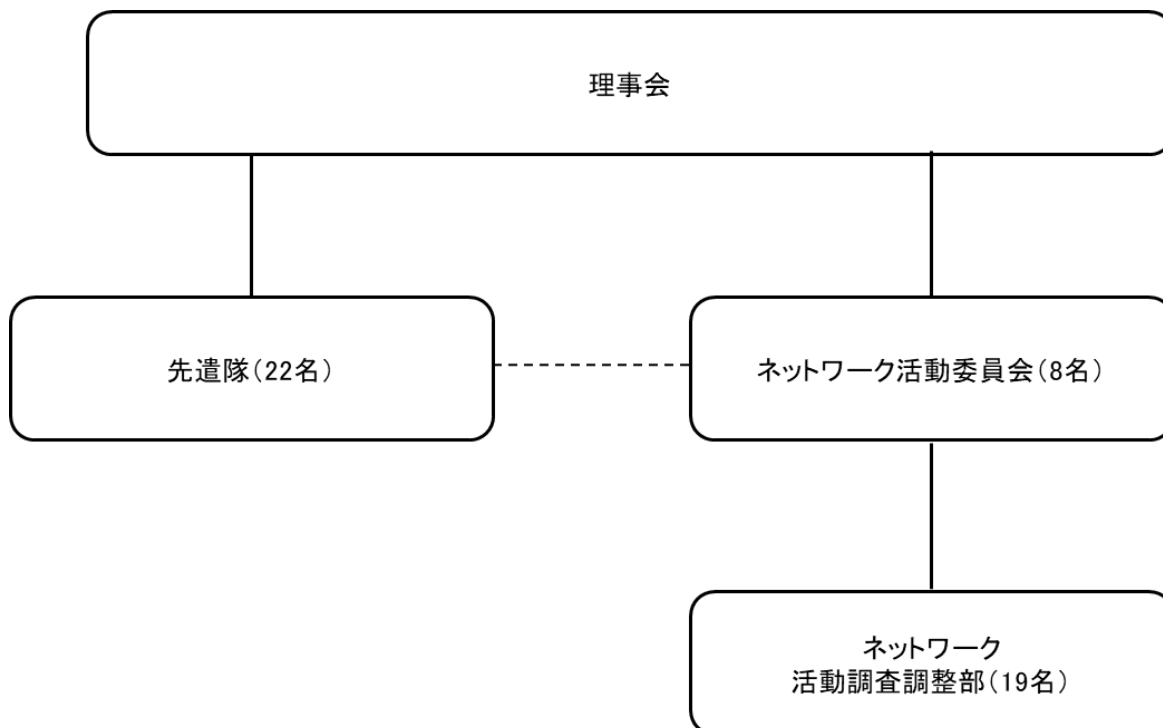


## 一般社団法人 日本災害看護学会 ネットワーク活動委員会

### 【ネットワーク活動委員会】

1. ネットワーク活動委員会の任務  
災害看護に関する知識体系の確立に向けて国内災害時の看護ニーズについて調査・情報収集を行い、そのデータを蓄積し、災害看護学の構築に貢献することを目指します。
2. ネットワーク活動委員会の体制  
本委員会は「ネットワーク活動委員会」・「先遣隊」・「ネットワーク活動調査・調整部」の3組織から構成されています。



3. ネットワーク活動委員会委員 (2021年～)  
委員長: 大山太  
委員: 野島敬祐 (庶務)  
櫻井大輔 (会計)  
太田晴美 (庶務・会計補佐)  
佐々木久美子、渡邊智恵 (先遣隊担当)  
窪田直美、橋本翼 (調査調整部担当)

【ネットワーク活動調査・調整部活動】

1. ネットワーク活動調査調整部活動

月担当者(本部担当・東日本担当・西日本担当)を決め、国内災害を対象にモニタリングを行い、一定基準を超えた災害に対し、初期調査・初動調査・継続調査を行っています。

調査種類	内容
初期調査	初期調査とは、被災地に配慮した適切な方法（電話・インターネットなど）で、被災地の組織会員や個人会員等のネットワークを活用し、被害状況の確認、ケアニーズ等の把握を行うことを目的に調査を行う。
初動調査	初動調査とは、直接、被災地に赴き調査を行う方法を用い、直接的に被害状況の確認、ケアニーズ等の把握を目的とする。なお本調査実施する際は、調査時期と方法について、委員長、月担当者および被災地に近いメンバー間で検討し実施する。
継続調査	継続調査とは、初動調査で、長期的な被害が予想された場合、直接、被災地に赴き調査を行う方法を用い、直接的に被害状況の確認、被災外中長期の対応や課題等の把握を目的とする。なお本調査を実施する際は、調査時期と方法について、委員長、月担当者および被災地に近いメンバー間で検討し実施する。

2. ネットワーク活動調査・調整部 活動の基準

災害種類	活動基準
地震	震度5以上(震度6強以上は初動調査の必要性を検討する)
大雨・洪水	警戒レベル5(災害発生情報)が発表された場合
竜巻	F2(藤田スケール)以上の竜巻(F3以上は初動調査の必要性を検討する)
人為災害	負傷者が15~20名以上
その他	土砂災害、噴火、雪害、高潮・津波、副振動etc.

### 3. ネットワーク活動調査調整部メンバー

担当	メンバー	50音順(敬称略)
本部担当 (6名)	城戸口親史(富山) 末永陽子(福岡) 立垣祐子(兵庫) 中信利恵子(広島) 深谷真智子(神奈川) 柳澤修平(千葉)	
東日本担当 (6名)	鈴木初恵(埼玉) 高取充祥(山梨) 夏目恵美子(愛知) 板東利恵(北海道) 福島芳子(福島) 渡邊和信(静岡)	
西日本担当 (7名)	片穂野邦子(長崎) 小寺直美(三重) 小林賢吾(熊本) 佐々木康介(高知) 畠山典子(大阪) 藤田さやか(兵庫) 矢野貴恵(奈良)	

